

## 「社会に出る選択肢に」名古屋工業高生クレーン体験

愛西市の名古屋工業高校永和台研修センターで二十二日、クレーン操縦体験教室があった。全国クレーン建設業協会愛知支部の協力で開かれ、同校の土木科、建築科の生徒約百人が参加した。

同支部の業者の移動式クレーン四台を使い、クレーンオペレーターに指導を受け、二百kgの重りを決められた枠内に運ぶ操縦を体験した。建築科二年、水野良莞さん(む)は「初めて体験した。最初は難しかったが、慣れてくると楽しくなってきた」と話した。

同支部は、県内の高校で体験教室を開いている。支部長の板津和博さん(ふ)は「自分が建設に関わった施設が後世に残るところがこの業種の魅力。社会に出る際の選択肢にしてほしい」と期待していた。

(吉田幸雄)



指導を受けてクレーンを操作する生徒＝愛西市の名古屋工業高永和台研修センターで